

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市地域中核施設プラザノース
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区宮原町1丁目852番地 1</p> <p>②施設の設置目的 市民の生涯学習及び芸術文化情報の発信の場として地域の活性化や地域づくりを支援する活動拠点になるとともに、地域特有の文化資源である漫画をもとにした芸術創造・ユーモア機能を活かした多彩な事業を展開する。</p> <p>③施設の概要(敷地面積:26,015㎡、延床面積:20,278㎡、地上4階建て) 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設 主な施設: ●北区役所●北図書館●ホール(403席)●楽屋(5室) ●リハーサル室(3室)●多目的ルーム(227席)●音楽スタジオ(3室) ●和室(4室)●書斎(5室)●キッチンスタジオ●セミナールーム(7室) ●陶芸アトリエ●絵画アトリエ●造形アトリエ●CGアトリエ ●交流スタジオ●ノースギャラリー(8室)●ユーモアスクエア ●自由読書スペース●映写室●遊戯室●託児室●駐車場(183台) 等</p>
(3)指定管理者	J&I共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和5年度458,172千円、令和6年度460,112千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 302,720(前年度293,913人) ・稼働率38.6%(前年度37.8%) ・利用率68.3%(前年度68.8%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の受付・利用許可、使用料の徴収 ・PR等情報提供、友の会運営、調査・評価・分析 ・各種文化芸術事業(公演・各種講座・展覧会)の実施

②維持管理業務の実施状況

- ・施設管理業務(設備・警備・清掃)[毎日]
- ・機械警備業務[毎日]
- ・特殊建築物定期点検[1回/3年]
- ・建築設備定期検査[年1回]
- ・自動ドア保守点検業務[年4回]
- ・家用電気工作物保安管理業務[年12回]
- ・中央監視設備保守点検[年1回]
- ・空調機保守点検業務[年2回]
- ・空調衛生用監視設備保守点検[年1回]
- ・各種水槽清掃[年1-2回]
- ・ポンプユニット定期点検[各年1回]
- ・雨水ろ過装置定期点検[各年6回]
- ・エレベーター・エスカレーター保守点検[年12回]
- ・消防設備保守点検業務[年2回]
- ・防火設備定期検査[年1回]
- ・舞台機構設備保守点検業務[年1回]
- ・舞台照明設備保守点検業務[年2回]
- ・舞台音響設備保守点検業務[年2回]
- ・ピアノ定期調律[年4回]
- ・噴水水景設備点検[年2回]
- ・植栽保守管理業務[通年]
- ・駐車場管制設備保守点検[年2回]
- ・一般廃棄物収集運搬処理業務[毎週]
- ・産業廃棄物収集運搬処理業務[年2回]

③その他の業務

・市の主催事業は104事業を実施。内、地域や市民との協働事業は11件実施。

⇒事業参加者数12,957名、事業アンケートでの「大変よかった」「よかった」レベルは96%を記録。

●「ノースであそぼう！あーとひろばの日」開催

・「さいたま市民の日」記念事業として12回目となる「ノースであそぼう！あーとひろばの日2024」を開催した。近隣企業の協賛の下、ライブイベントや展覧会の他、施設利用団体による「ものづくり体験」「音楽・ダンス体験」等を実施し、今年度も多種多様な芸術文化に触れる機会を創出した。また、プロのアーティストと植竹中学校吹奏楽部とコラボレーションで「わっしょいパレード2024」としてステラタウン大宮20周年音楽祭に参加し、地域の賑わいにも貢献した。

●Domain of Art34と関連事業の実施

・現代美術作家による展覧会「Domain of Art34 藤田道子展 右から光り」を開催した。関連事業として「ほどく前提で結ぶワークショップ～虹になる～」をさいたま市立東大成小学校で実施し、3年生の児童90名が作家とともに制作した作品を展覧会会場で展示した。展覧会は子どもから年配の方まで幅広い層から1,501名が来場した。

(6)収支状況

①収入

- ・指定管理料460,112千円 (前年度458,172千円)
- ・文化事業費4,229千円 (前年度5,183千円)

②支出

- ・人件費103,026千円 (前年度95,974千円)
- ・文化事業費45,851千円 (前年度45,896千円)
- ・施設管理費240,049千円 (前年度237,421千円)
- ・その他支出71,669千円 (前年度70,476千円)

【自主事業】

- ①収入5,467千円 (前年度4,539千円)
- ②支出4,189千円 (前年度3,736千円)

<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>貸出施設利用者の属性・利用状況・満足度を把握し運営業務の向上を目的とし、9月1日から10月31日にかけて貸出施設アンケートを実施した。今回からインターネットを利用した「WEBアンケート」を導入し、同じ内容の「紙アンケート」と併用した。回収件数はWEBと紙合計で437件で前年の443件より6件減少したが、アンケート集計・分析システムを活用することで、利用者ニーズや改善点をより明確にすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸アトリエ利用者のために備え付けロッカーを利用団体ごとに振り分けて自由に使用できるようにした。また要望から利用頻度の高い5mmのたたら板20本を購入した。 ・経年劣化に伴うテーブルのキャスターの不具合についてのご意見を複数いただき、100台以上の机のキャスター交換を行った。
<p>(8) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料収納業務の効率化及び違算事故防止のため自動釣銭機を導入し、精算にかかる時間が短縮されサービスの向上につながった。 ・貸館利用者の催しを紹介する「催し物ガイド」の設置個所を増やし来館者への周知を強化した。 ・当日の貸館の予定を投影するサイネージの画面レイアウトを、より見やすい形に変更した。 ・アトリウムのテーブルと椅子の運用の見直しを行い、テーブルと椅子の配置を変更することとした。イスのみの独立したスペースを増やし、テーブル利用者、イスのみの利用者が棲み分けられるよう配慮した配置とした。 ・「施設におけるカスタマーハラスメントに関する考え」及び「館内での迷惑行為防止のご協力をお願い」を館内掲示及びホームページに掲載し、館としての考え、対応について市民へ周知した。

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
有機的つながりを創出する事業の実施	「ノース・ぶらっとコンサート～与野吹奏楽団～」では、施設利用団体でもある与野吹奏楽団のご協力のもと、地域の皆さまに気軽に楽しめる公演を実施。中盤に「指揮体験コーナー」として来場者が実際に舞台上で指揮体験をする時間が設けられ、4歳～中学生までの5名が順番に舞台にあがった。事前申込は受付初日で終了し、当日は301名が来場。
市民の主体性の発揮を促す事業の実施	芸術創造・ユーモア機能では、「ノースであそぼう！あーとひろばの日2024」において、施設利用団体による「ものづくり体験」「音楽・ダンス体験」の実施やプロのアーティストと植竹中学校吹奏楽部とコラボレーションで「わっしょいパレード2024」としてステラタウン大宮20周年音楽祭に参加。
さいたま市の魅力ある資源を積極的な活用①	北図書館と連携し、「おやこ盆栽ワークショップ」講座を実施。参加者が制作した盆栽の作品展示を図書館内で行うことで、さいたま市の文化資源である「盆栽」文化を周知。講師の指導のもと、もみじ・鉢を選び、形決め、苔などの仕上げ等の盆栽作成から、手入れや水のやり方、トラブル対処法等までの充実した講座を提供。
さいたま市の魅力ある資源を積極的な活用②	「木目込人形ワークショップとさいたまの人形作りを学ぶ」では、伝統工芸士の新井久夫氏を講師に迎え、木目込人形のできる過程などご説明いただきながら、来年の干支にあたる巳の木目込人形を2回の講座で1体制作した。3回目の講座ではさいたま市岩槻人形博物館の見学を行った。
施設稼働率及び来場者向上	「スマイル PLAZANORTH」でのサークル・団体の活動紹介展示に合わせて、サークルの新規加入を希望する方を対象に見学会を紹介。登録サークルに協力いただき、自由に活動を見学できる日を設定し告知。新たな活動を行いたい潜在ニーズを掘り起こし、きっかけを与えることにより加入促進を図り、地域の人と人とを繋ぎ、交流の場を提供。 市民サークル紹介動画の掲載数5団体の増加(目標10団体)、市民の活動の認知向上を支援。
施設の特徴理解を目的とした広報活動	広報誌のブラッシュアップを実施。 事業・イベントの詳細情報とあわせて公演に向けた出演者のメッセージを掲載(発行部数:約13,000部)。
施設の認知度向上施策の実施	さいたま市内の団体との連携による地域に根付いた情報発信を実施。ステラタウンとの連携事業については、相互での広報連携を実施、また近隣小学校と連携して現代美術作家と作品を制作する事業を実施するなど、施設の認知度向上に務めた。
安全・安心・快適な環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・外気温に合わせた温度の調整のほか、ホールやギャラリーでの利用者の要望に対して適宜温度調整を実施し、快適な利用環境の提供に努めた。 ・植栽で害虫の発生がないか日常的な点検を行い、イラガ等の危険がある害虫が発生した際には殺虫剤による駆除を実施し、利用者の安全を確保に努めた。 ・非常用発電設備バッテリー充電器のファン故障があり、停電時の機能維持のため充電器ユニットの交換を実施。(6月) ・防火設備のシートシャッターにて危険防止装置に不具合があり、利用者の安全確保のため装置一式の交換を実施。(3月)

3 評価

(1) 指定管理者による評価

- ①市民の平等利用については、「さいたま市コミュニティ施設条例」「同条例施行規則」、その他関連法令を遵守し、さいたま市の代行者として平等かつ公正な利用に努めた。また、施設利用について不当な差別的取扱いを行わないことはもちろん、コンプライアンスを徹底した管理運営を実施した。
- ②市民サービスの向上については、接客研修において「カスタマーハラスメントにしないための対応・接客とは」と題し実践レベルの研修を外部講師を招いて実施し、スタッフ一人ひとりの対応力、接客レベル向上に取り組んだ。
- ③「経費の削減」
・前年同様、ホール等の大規模諸室で利用終了後の照明・空調を速やかに落とす、アトリウム内の必要照度以上の400W水銀灯の取り外し、館内2階廊下部分の吹き上げ空調の停止に加え、今年度は暖房期に共用部分の空調の昼時間帯の停止など節電を図った。
また、今年度は節電対策実施前(東日本大震災による)の平成22年度比で施設全体(北区役所、北図書館、その他)81.2%、その他のみ(北区役所、図書館を除いた部分)は86.2%となった。
- ④適正な管理運営の確保については、施設の安全を最優先に、迅速な修繕及び設備管理等に関わる法令等の遵守に努めた。また、関係各所と合同の消防訓練の実施に加え、個人情報保護やコンプライアンス研修を定期的に受講し危機管理意識の強化を図った。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・利用率・稼働率・利用者数いずれも前年度を上回っている。
- ・広報誌のブラッシュアップや、近隣施設との連携を行い、利用促進に努めた。
- ・市民へのより詳細な説明を行えるようにするために専門的な備品等の研修を実施し、サービスの向上に努めた。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めていた。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・危機管理マニュアルを施設に常備し、避難訓練についても北消防と連携し行っており、日ごろから緊急事態に備えている。

2 総合評価

- 事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。